

## 6. 今後の課題

### (1) 園児・児童の通学対策

統合にともない解消しなければならない課題に通学対策がある。

通学対策に対する保護者の関心は高く、統合幼稚園・小学校が建設されるまでに検討、整理されなければいけない課題である。考えられる検討協議事項の主なものに、運行の形態（コミュニティバス、スクールバス等） 路線数 それぞれの便数 バス通学対象者の距離 対象者の年齢 行政と保護者の負担の問題 交通安全対策等がある。引き続き、協議・検討の場を設け、情報・意見の交換を行い取り組みを進める。

平成16年10月25日～11月1日の間に実施した第3回校区別教育フォーラムにおけるこのことに対する要望・意見は概ね以下のような事であった。

- ・スクールバス専用の運行を行なって欲しい。
- ・園児専用のバスを用意して欲しい。
- ・中学生も対象にして欲しい。
- ・通学バス乗車対象範囲の距離を検討して欲しい。
- ・保護者の通学費軽減を配慮し欲しい。
- ・通学路の安全対策、整備（歩道等）を進めて欲しい。
- ・バス停留所の用地確保と施設整備を進めて欲しい。
- ・今後、通学対策について話し合う場を設けて欲しい。
- ・スクールバスの導入は、児童と地域のつながりを低下させないか

## ( 2 ) 既存教育施設の活用

統合後における各地区教育施設の利活用については、駐在員会を通して意見の聴き取りを行なった。各地区における意見の集約度に差違はあるが、寄せられた意見の主なものは次のとおりであった。

- ・ 地区公民館としての活用
- ・ 農業関係の短期滞在型施設としての活用
- ・ ふれあいや交流施設としての活用
- ・ 地域の研修施設としての活用
- ・ 文化活動の拠点としての活用
- ・ 住宅用地や地域の駐車場としての活用

概ね以上のとおりであるが、今後より広く意見を求め、検討を進める必要性が指摘されている。